

平成28年度第2回高松市入札監視委員会の結果について

- 1 開催日時 平成28年10月20日(木) 午前10時から午前11時15分まで
- 2 開催場所 高松市役所 3階 32会議室
- 3 出席者 委員3名

(1) 委員

委員長	大西均	(公認会計士)
委員長代理	藤本英子	(弁護士)
委員	佐川友佳子	(香川大学法学部准教授)

(2) 市側出席者

森田財政局次長(契約監理課長事務取扱)、松本健康福祉局次長(こども園運営課長事務取扱)、小路環境局次長(西部クリーンセンター所長事務取扱)、宮脇上下水道局次長、木村上下水道局次長(下水道整備課長事務取扱)、高尾スポーツ振興課長、香西建築課長、福山情報指令課長、山下契約監理課技術検査室長、宮崎財務管理課財産契約室長、木内財務管理課主幹(財産契約室長補佐事務取扱)、真部契約監理課長補佐、西川契約監理課技術検査室検査担当課長補佐ほか

4 会議の概要

(1) 報告

ア 市発注工事等の入札・契約状況などについて

(ア) 工事等の発注状況について

平成28年5月から8月までの工事及び建設コンサルタント業務などの発注状況について報告を受けた。

工事

一般競争入札	55件	公募型指名競争入札	62件	指名競争入札	8件
随意契約	13件	随意契約(緊急工事)	11件		
		合計	149件		約49億5,796万円

建設コンサルタント業務

公募型指名競争入札	19件	随意契約	7件		
		合計	26件		約2億6,595万円

製造の請負

指名競争入札	1件				
		合計	1件		約428万円

(イ) 指名停止の状況について

平成28年5月から8月までに行った指名停止等の状況について報告を受けた。

合計	2者
----	----

(2) 審議（抽出事案について）

平成28年5月から8月までの市発注工事のうち、委員会があらかじめ契約方式別に工事の内容や業種が重複しないなどの基準により、以下の5件の工事等の事案を抽出し、指名の経緯などについて審議した結果、いずれの事案も指摘に相当する問題点はなかった。

抽出事案

ア	高松市高機能消防指令システム等整備工事	
	一般競争入札	電気通信工事
イ	香西第1雨水幹線工事（2工区）	
	一般競争入札	土木一式工事
ウ	仏生山公園温水プール屋上防水改修工事	
	公募型指名競争入札	防水工事
エ	林地区幼保一体化施設整備実施設計業務委託	
	公募型指名競争入札	建築関係建設コンサルタント業務
オ	平成28年度西部クリーンセンター焼却プラント定期補修工事	
	随意契約	清掃施設工事

(3) その他

- ・ 次回の会議の日程 平成29年2月

5 質疑応答（要旨）

質 問	回 答
「高松市高機能消防指令システム等整備工事」 ・ 総合評価落札方式に関する評価調書のうち、「災害時の活動体制」の評価基準について説明願いたい。 ・ 準市内企業であっても、「災害時の活動体制」について、評価を得ることは可能か。	・ 本項目は、企業の社会性に着目するものであり、本市と災害協定を締結していること、高松市消防団協力事業所の表示証の交付を受けていること、災害時における活動体制を有していること等によって評価している。 ・ 高松市内又は高松市隣接市町の区域内において、自社で資機材を保有しており、かつ、緊急時の社内連絡体制が整備されていれば、加点の対象としている。

<p>・落札者の応札金額が失格基準価格に近似しているが、応札業者は失格基準価格を算定することは可能か。</p> <p>・本案件への応札者は2JVのみであったが、何者程度が応札可能であったのか。</p> <p>「香西第1雨水幹線工事（2工区）」</p> <p>・評価値の最も高い者が2者おり、入札価格も同額であったため、くじにより落札候補者を決定したとのことだが、くじの方法はどのようなものか。また、くじの結果は即時に出るのか。</p> <p>・本案件への応札者は6者であるが、応札参加可能業者は何者あったのか。</p> <p>・施工単価が1m当たり約73万円となっているが、雨水幹線工事の経費としては安価なものかと判断して良いのか。</p> <p>「仏生山公園温水プール屋上防水改修工事」</p> <p>・3者が最低制限価格を下回り、失格となっているが、設計金額は妥当であったのか。</p>	<p>・失格基準価格率の計算方法は、本市ホームページに公表していることから、失格基準価格を算定することは可能である。</p> <p>・本案件で求めている施工実績を満たす企業は、JV代表者として、市内企業が2者程度、準市内企業が7者程度、構成員として市内企業が9者程度を確認できた。</p> <p>・本市では、電子入札システムによる「電子くじ」により抽選を行っている。</p> <p>この「電子くじ」による抽選は、応札者が入札時に入力した3桁の「くじ申込番号」に電子入札システムが発生する乱数を加えた「くじ番号」と応札順などを基に、無作為に落札候補者を決定するものであり、同システムで「電子くじ」を実施すると即時に落札候補者が決定する仕組みとなっている。</p> <p>・12者程度が確認できた。</p> <p>・本工事において、オープンシールド工法を採用したことにより、通常の開削工法と比較して経費の削減となっている。</p> <p>・設計金額については、実勢単価及び最新の歩掛に基づき積算していることから、適正であったと認識している。</p> <p>なお、最低制限価格については、中央公共工事契約制度運用連絡協議会の低入札価格調査基準モデルに準拠して算定したものである。</p>
---	--

<p>・仮に不調となり、再募集する場合、予定価格や最低制限価格は見直すのか。</p> <p>「林地区幼保一体化施設整備実施設計業務委託」</p> <p>・建設コンサルタント業務については、最低制限価格は設定しないのか。</p> <p>・本案件の落札者は、過去に同種の建築物の設計業務を受注した実績があるのか。</p> <p>「平成28年度西部クリーンセンター焼却プラント定期補修工事」</p> <p>・本施設はいつまで使用できるのか。</p>	<p>・再募集に当たっては、各案件の施工内容や工事完成期限等の諸条件を踏まえた上で、入札参加者の地域要件や設計内容を見直す場合もあり、案件ごとに対応している。</p> <p>・建設工事とは異なり、役務的な作業が主であることから、現在のところ、本市では建設コンサルタント業務に最低制限価格は設定していない。</p> <p>・当該企業は、本市が発注した同種の建築物の実設計業務を履行した実績を有している。</p> <p>・平成44年度までの16年間は使用する計画である。</p>
---	---